

会議結果報告書

1. 会 議 名 令和8年度 第2回 印西市環境推進会議（市民会議）

2. 日 時 令和8年7月17日（金）9：30～11：30

3. 場 所 市役所 会議棟 204会議室

出席委員：小山会長、白川副会長、岩井委員、片桐委員、久保薫委員、富川委員、
橋本委員、渡辺委員

4. 事 務 局：増田政策推進係長、田口主査補、柴田

5. 傍 聴 者 0名

6. 配布資料

- ・会議次第
- ・令和8年度いんざい環境フェスタ展示資料
- ・ペロブスカイト太陽電池資料

7. 内 容

（1）開会

（2）会長挨拶

（3）議事

①いんざい環境フェスタの報告について

—いんざい環境フェスタ報告について事務局より説明—

事務局：環境フェスタの来場者は600人で、市民会議で作成した環境カレンダーは50部
全て午前中になくなった。市民会議ブースでは、特定外来生物に関するクイズと
脱炭素の取組に関するクイズをポスターで展示し来場者に説明をした。当日の委
員の参加が午前午後各2名ずつで少ないことから次年度以降は環境フェスタへの
出席を要件として市民会議委員の募集を行うか、環境フェスタ自体の出展を再検
討する等、今後の参加意向について意見を伺いたい。

会 長：事務局より説明ありましたように、今後の参加意向について意見を伺います。

委 員：準備期間が短すぎると思います。5月の会議で急いで内容を決めるのではなく、もっと前から何を発信するのか考えた方がいいと思います。予定も合わせやすい。

委 員：市民会議の活動内容を環境フェスタで発表し、アウトプットの場にすることも考えられる。

委 員：去年はもう少し準備時間があつた。1回の会議で全て決めるのではなく、1年かけて少しずつ作り上げる方法でもいいと思う。

委 員：クイズだけでなくパネル展示も考えられる。

委 員：クイズだけでは市民会議が何をしている団体なのか伝わらない。

委 員：スタンプラリーや景品だけが目当ての来場者がいることが問題。

会 長：今の問題は展示内容よりも、当日の委員参加が少ないことだと思います。いかがですか。

委 員：委員の参加が少ないからフェスタに参加するのをやめようというのは消極的すぎる。

委 員：環境フェスタにおける市民会議の位置づけを確認したいです。私たちのサポートがなくても運営できるように、以前はなっていた。私たちがやめるって言ったらやめていいのか。

事務局：市民会議の設置目的は、市民への環境配慮行動指針の普及啓発です。環境フェスタは市民と直接接することができる大切な機会だと思っております。市としては市民会議に主体的な参加をお願いしたいと考えております。

会 長：私が昔、環境フェスタの実行委員長をしていた頃、市民会議にもぜひ参加してほしいとお願いした経緯があります。環境問題はゴミだけではありません。市民への啓発という意味で参加には大きな意義があります。

委 員：3月頃から準備を始めて、段階的に意識を高めていけば当日参加する委員も改善されると思います。

委 員：環境白書についての時間を短縮して、1月から話した方がよい。

委 員：環境フェスタは市民と接する唯一の機会。ここまで蓄積されてきたものをやめるとまた復活させるのは大変。やめるべきではないと思います。

委 員：市民団体の活動はすでに活発なので、そのうえで、市民会議は何をするべきなのか、考え直す必要があります。イベントありきではなく、何を目的や目標とすべきなのか。市役所と市民の窓口やつなぎ役になれば独自性がでてくる。

会 長：それでは意見をまとめると、環境フェスタへの参加は継続する方向でいきます。
ただし、展示内容や意義については改めて考えていくことにします。

②環境基本計画の推進に係る取組の検討について

—環境基本計画の推進に係る取組の検討について事務局より説明—

会 長：今回はグリーンインフラグループと、サステナブルグループの2つのグループに分かれて話し合います。

—グループ協議—

会 長：時間になりましたのでサステナブルグループから内容を報告してください。

委 員：来年度の環境カレンダーの内容について話し合いました。現在、原稿はできていますが、写真や文章を修正して9月頃に最終原稿を完成させたいと思います。委員や事務局に写真の協力をお願いします。

会 長：ありがとうございます。それではグリーンインフラグループ、内容報告をお願いします。

委 員：これまで市長へ保護地区の提案をしてきました。候補地は別所があります。ホテルが減少している地域でもあります。ただし、別所を候補地としつつ新しい候補地も探していこうとなりました。私たちの提案している保護地区と似た活動内容になりますが、印西市と白井市、保護団体や大学などが参加している北総ランドスケープ・マネジメント・センターという新しい組織もできました。

（４）その他

委 員：日本が開発した「ペロプスカイト太陽電池」ですが環境省が補助金制度を始めました。対象が地方公共団体や民間事業者・団体となっておりぜひ印西市も導入してほしいと思っています。曲げることもできたりするので、新しいクリーンセンターの煙突とか市役所の窓とかに活用できるかと思っています。

委 員：窓ガラスに使えるのですか。

委 員：透明にすることも可能だと思います。ただし寿命は10年程度だそうです。

事務局：貴重な情報と意見ありがとうございます。まだ価格も高く、入手も難しく、設置場所の検討も必要な状況ですので、動向をみていきたいと思っています。

(5) 閉会

以上

令和8年度第2回印西市環境推進会議（市民会議）の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和8年8月18日

印西市環境推進会議（市民会議） 委員 久保 蘭 彩子

印西市環境推進会議（市民会議） 委員 白川 卓生